

四日市版コミュニティスクール報告書（令和6年度総括）

四日市市立羽津北小学校

校長 西川 明里

1 コミュニティスクール（運営協議会）のねらい

- ① 学校・保護者・地域が互いに連携し、学校教育目標である、「自ら学び、共に生きる子どもの育成」の実現を図ります。
- ② 保護者や地域の声を反映した教育活動を進めることで、学校とともに児童を育成する中心的な役割を果たします。

2 コミュニティスクール（運営協議会）の実践について

(1) 教育活動の実践事例

【令和6年度プール清掃の協力】

6月3日に、コミュニティスクール(以下けやき委員会)も協力して、6年児童と共にプールの清掃作業を行いました。

当日は児童と共にけやき委員やPTA・地域の方々・教職員が集い、協力して学校のプール清掃に取り組みました。限られた時間の中で、子どもたちだけでは難しかった部分も、大人の力で最後まで取り組むことができました。大人も子どもも力を合わせて協働したことで、安全かつ楽しく水泳の授業ができる環境が整いました。今夏は熱中症アラートのため水泳に取り組めない時間もありましたが、この活動によって子どもたちが、快適に水泳の授業に取り組むことができました。



【竹チップ撒き】

地域の竹藪整備で出た竹を機械で細かく砕いて、竹チップを作りました。この竹チップを使って、けやき委員をはじめ、羽津地区まちづくり推進協議会、PTAの方々と共に、生活科広場の環境整備を行いました。



【陶芸教室】

3年生は、地域の陶芸家の方を招いて自分たちの住む地域の地場産業である萬古焼の学習として、陶芸教室を開きました。

また4年生は、ばんこの里会館を見学してひな人形の絵付け体験をしました。本校では3年生で焼き物作りを行い、4年生で地域の産業についての学びを深めています。

【自然クラブ】

羽津緑の会の方々を講師としてお招きし、水質検査、竹リース制作、原木椎茸の菌植え等を行うことで、地域の自然や特色を知り、地域への愛着を高めることができました。



【6年生竹明かり制作】

今年度も、校区の額突山公園のイベントに出品するため、6年生が竹明かりを制作しました。この取り組みは、地域との関わりが持てる良い機会となりました。

制作にあたっては、羽津地区まちづくり推進協議会より、様々な協力をしていただきました。

当日はけやき委員をはじめ、羽津緑の会や羽津地区まちづくり推進協議会員、PTA、保護者の方々にも協力していただき、竹明かり制作を実施することができました。このように地域のイベントに協力することは、児童が地域の方々と繋がったり地域の一員としての自覚を育んだりする良い機会となりました。



【図書ボランティアによる読み聞かせ】

今年度も、図書ボランティア(羽津絵本の会・どっこいしょ)による読み聞かせを行うことができました。

学年ごとに日を分けて行い、全クラスで複数の



のボランティアの方々による読み聞かせを行っていただきました。

児童たちは、真剣に読み聞かせを聞いたり読書への興味や関心を高めたりする良い機会となりました。



(2) コミュニティスクール（運営協議会）の取組による効果

今年度も、子どもたちの教育のためにできることを探して取り組むという方向を確認して取り組みを進めました。まず、昨年に引き続きプール清掃に協力することになりました。清掃日当日は、けやき委員をはじめ、地域・保護者にも呼びかけ、6年児童・教員と共に清掃作業を行いました。また、校内環境整備のため、地域の方々にも協力を仰ぎ、生活科広場の環境整備を行いました。そして1月には、地域の額突山緑地公園のイベントに合わせ、羽津地区まちづくり推進協議会の方の協力をいただき、6年生が竹明かりを制作することができました。これらは、地域の皆様の「子どもたちのために」という温かい想いから実現しています。また、けやき委員会の方々に、学んでいる児童の様子や行事を参観していただき、前向きに学習に取り組む児童の姿を見ていただきました。

これらの活動を通して、本校の教育について様々な角度からご意見をいただき、協議する事ができました。

今年度も皆様のご協力により、様々な活動を行うことができました。今後も地域との連携を大切にすることで、子どもたちのより豊かな人間性を育むことができると思います。これらは、学校評価アンケートからも窺うことができました。学校評価の児童アンケートでは、肯定的な回答が「話すとき、聞かときのルールを守り、友だちとなかよく勉強している（95pt）」、「本を読むことが好き（77pt）」「総合的な学習の時間や社会の時間に地域の事や身近な人のことを学ぶ授業は楽しい（91pt）」と、昨年度より向上しました。また、児童が落ち着いて学ぶ姿から、保護者アンケートでは、「お子様は、学校のきまりを守って、学校生活を送っている。」について、98ptの肯定的な回答をいただいています。



3 今後に向けて

けやき委員会は、学校と地域のパイプ役として様々な取り組みを進めています。今後もPTA・地域団体等と連携しながら取り組みを進めていく必要があると考えます。また、羽津地区まちづくり推進協議会と連携した行事も活発になりつつあります。これらのことから、地域と保護者・学校が協力し合う関係をより深めていきたいと思えます。今後も、この連携を大切にし、これまでの活動の継続と無理のない発展的な活動を目指していきたいと考えています。

今年度は、けやき委員会の取り組みを啓発するため、けやき委員の方々に紹介し、学校と地域が協働して取り組みを進めていることを紹介する「コミュニティスクールだより」を発行することができました。今後も、学校だよりやHP、地域回覧等で積極的に啓発していきたいと考えています。

令和6年度四日市版コミュニティスクール活動報告

四日市市立羽津北小学校

委員長 稲原 清

校長 西川 明里

月	協議会の開催	活 動 内 容
4		
5	第1回けやき委員会	・委員委嘱、規約確認 ・学校づくりビジョン説明と承認
6	第2回けやき委員会	・プール清掃 ・竹チップ敷き ・クラブ見学
7		
8		
9		
10		
11	第3回けやき委員会	・学校評価について ・コミュニティスクールだよりについて
12		
1	第4回けやき委員会	・竹明かり制作への協力について ・授業参観、学校関係者評価
2	第5回けやき委員会	・6年生を送る会参観、学校関係者評価 ・今年度の総括と来年度の体制と方針について
3		